

中野区  
議会議員

# 中村延子

## 区議会レポート

発行 / 中野区議会民主党議員団

中野区中野 4-8-1 Phone: 03-3228-8876 Fax: 03-3389-8718

編集 / 中村延子事務所

中野区弥生町 4-36-6-402 Phone:080-6533-9450 Fax: 03-3380-3150  
email: n@nakamuranobuko.jp

Vol.5

平成25年11月号



### 平成25年第3回定例会本会議にて 一般質問を致しました。

不登校対策について

どんな子どもたちでも、個性を生かしのばしていくこと。そして大人になり、日本や東京や中野にとって必要な人材として成長していくために、公教育は非常に大切なものだ。どんな状況の児童・生徒に対しても、できる限りの環境を整え、彼らにあった指導のもと、彼らの長所を引き出すことが求められている。

Q.不登校になった児童・生徒への初期対応は？担任の先生の児童・生徒への対応が迅速に行われることが必要不可欠だと思うが現状は。

A.児童生徒になんだかの変化が見られた場合には、担任を中心

に本人や家庭の状況の確認にとめている。このほか、管理職、担任、養護教諭、スクールカウンセラーを中心に相談体制を整え、家庭に対し必要に応じた働きかけを行っている。

危機管理について

7月12日に宝塚市役所で起きた火災瓶投げ入れ事件を含め、地方自治体への暴力行為が様々な要因により行われてきており、後を絶たない。中野区では宝塚市役所の事件を受けて、8月26日に税務分野で危機管理訓練が行われた。

Q.今回は税務分野が対象だったが、そのほかの部署へこの訓練が行われる旨の周知はされたのか。どの分野でも区民と関わるところでは、いつ何時このような事件が起きるかわからず、危機管理を徹底しなければいけないと考えるが。

A.宝塚市役所の事件を受け各分野に対して緊急時対応の再確認と職員への徹底を図るよう通知するとともに税務分野窓口での訓練を実施した。この訓練の実施については全庁に周知をし税務分野以外にも約100人の職員が見学をした。

Q.今回の訓練の対象となった不

当要求行為への全庁的な対応マニュアルは存在するとのことだが、この訓練の実績を受けて新たに更新をすべきと考えるが。

A.現在のマニュアルは凶器を保持している事態を想定したものはなっていない。訓練の反省もふまえ、改訂を行う予定。一般の来庁者と働く職員の安全を守る体制作りを急ぐとともにマニュアルや体制が実際に機能するよう様々な事態を想定した緊急対応訓練を継続的に実施していく。

防災教育について

Q.8月24日と25日に区立中野中学校で、宿泊防災訓練が行われた。多岐に渡った宿泊訓練だったと伺っている。区の防災担当職員、中野消防署の職員の方、町会の役員、消防団、日赤の救護班など多くの方が参加をされた。このような宿泊訓練は定期的なこと、中野中学校だけではなくすべての中学校でも取り入れるべき。地域の方々や関係機関の協力なくしては、実施できるものではないが、区が全面的にサポートをし実施すべきと考えるがどうか。

A.この取り組みは学校だけではなく地域の防災会、消防団、消防署などさまざまな関係機関の多方面にわたる調整をうけ実現したものであるため、今後どの

ように各学校が実現できるか検討していきたい。

災害時の外国人への情報提供について

Q.中野区でも2013年2月現在、10675人の外国人が住んでいる。地震の経験もなく情報弱者である外国人が災害時にパニックを起こしては、避難所運営にも支障が出かねない。国際交流協会に頼るだけではなく、区として外国人のために正確な情報提供を行う体制づくりを迅速に進める必要があるが。

A.外国人への平常時の情報提供は区報やHPによって行っている。発災時の情報提供は外国語表記の案内板等を用意し、また東京都が設置する外国人災害時情報センターや中野区国際交流協会等との連携により体制を構築し迅速かつ確実な提供を行う。

Q.来年4月には早稲田大学の国際コミュニケーションプラザが完成し、多くの外国人留学生在が中野区に住まわれる予定だ。きちんとした体制を作って迎えるべきだ。

A.早稲田大学が開設する中野国際コミュニケーションプラザで生活する外国人留学生へ必要な支援を行っていく一方で災害時通訳ボランティアの募集など災害時の相互支援について早稲田と協議を行っていききたい。



## H24年度中野区決算が認定されました。

中野区議会では、9月12日～10月1日に決算特別委員会が設置され、多くの議論がされました。

普通会計歳入決算額は1145億円、歳出決算額は1125億円とともに昨年度と比べ増となりました。23年度より財政調整基金の取崩額が積立額を上回っており、また各種財政指標の状況も23区平均と比べると厳しい数値が示されています。厳しい財政状況下、不断の歳入確保と歳出の見直しを行い持続可能で体力のある区政の構築を目指さなくてはなりません。個別施策

では、区役所1階ワンストップ型総合窓口の改善や主要3債権の収納強化、待機児解消や多様な保育サービスの充実など評価し中野区議会民主党議員団は賛成を致しました。一方、区立小中学校再編計画(第2次)が策定されましたが、学校設置基準を下回る学校が見受けられることは問題であり、教育環境の改善に取り組む必要があります。また施設の老朽化が進み、施策全般に大きな影響を及ぼす恐れもあり、早急に公共施設マネジメント計画を策定することをあわせて要望しました。

## 日米青年政治指導者プログラムの訪日団受け入れを致しました。

—昨年参加した日米青年政治指導者プログラム。9月28日～10月11日の日程で、同プログラムの第30回訪日団が来日されました。

訪日団は毎年いらしており、東京プログラムとその他2つの道府県で研修が行われます。逆に私が参加した訪米プログラムは、ワシントン DCプログラムと他2つの州にて研修が行われます。中央と地方それぞれの政治や相互関係など様々な政治関係者からお話を

伺ったり懇談会をもったりすることにより、日米の相互理解を深めていくプログラムです。今回、細野豪志衆議院議員、津村啓介衆議院議員、西沢けいた東京都議会議員、中村公太郎世田谷区議に参加していただき、プログラムの受け入れを致しました。

私のライフワークでもある国際交流。こういう形で、それも7年半留学をしていた地アメリカとの交流に関われることに感謝しています。



## 区議会での役職が変わりました。

5月27日に開かれた中野区議会臨時会にて、区議会での役職が変わりました。

21期後期では、常任委員会が厚生委員会、特別委員会は地域支えあい推進特別委員会の副委員長を務めさせていただくことになりました。

## 中村延子

なかむらのぶこ

### 略歴

### 趣味

音楽、料理、旅行、  
フラワーアレンジメント  
おとめ座/B型/酉年

1981年9月2日生まれ 東京都中野区出身  
東京文化小学校、東京文化中学校卒業  
米国アニーライトスクール高等部卒業  
米国クレアモント・ピッツァーカレッジ卒業  
在学中、北京大学医学部へ短期留学  
約4年間、民間企業に勤務  
民主党衆議院議員手塚よしお秘書、  
参議院議員運動秘書として経験を積み、  
2011年4月中野区議会議員選挙で  
1530票をいただき初当選  
役職：厚生委員会・地域支えあい推進特別  
委員会副委員長

[www.nakamuranobuko.jp](http://www.nakamuranobuko.jp)